

〈開催にあたって〉

日本への難民申請 3 年間で 23487 人、認定はわずか 66 人

いま、戦後最大の難民危機と言われています。世界には約 6500 万人の保護が必要な方がいます（2015 年）。これは換算すると、113 人に 1 人となり、しかもこの数はいまもなお、増え続けています。

この日本にも世界中からたくさんの難民がきています。日本への難民申請者は近年急激に増え続け、昨年の申請者は 10901 人も達しました。しかし、そのうち難民と認められたのは、たった 28 人。2014 年から 2016 年までの 3 年間の難民申請者数を合計すると 23487 人ですが、認定者数はわずか 66 人にすぎません。

世界が揺れている今、難民問題を通じて考えよう！

もしあなたのそばに、紛争や迫害から逃れてきた難民がいるとしたら…。あなたはどうしますか？

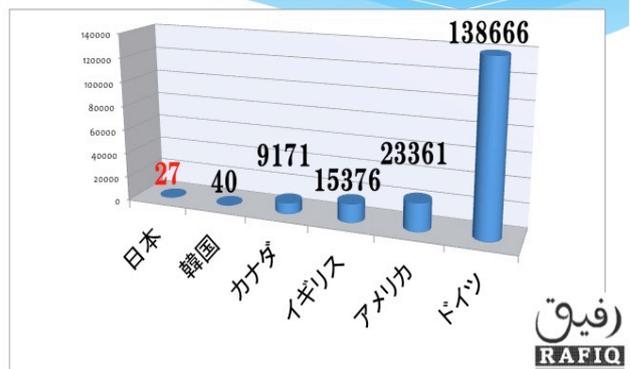
わたしたちの生活自体がすでに世界と密接に結びついている現実をみると、国際的な責任分担は必要不可欠ですが、日本政府の難民受け入れの状態は、世界各国から「難民鎖国」と言われているほどです。しかし民間では、日本にいる難民に対する支援の輪は日増しに広がり、様々な取り組みがなされ、民間による難民の受け入れなども始めました。

同じ時代、同じ地球に生きている者として、難民を排除するのではなく、「Refugees Welcome」（ようこそ なんみん）と言えるように、この日本であなたができることを、一緒に考えましょう。



法務省資料より RAFIQ 作成

2015年主要国の難民認定数 (毎年6月20日の世界難民の日に発表)



UNHCR 資料より RAFIQ 作成